

国宝書籍特別公開 史跡足利学校企画展
『元号 一令和から江戸時代後期まで一』の開催について

教育委員会事務局 史跡足利学校事務所

1 趣旨

史跡足利学校では新元号「令和」の典拠となった『万葉集』（文化2年刊）のほか、国宝『宋版 尚書正義』（「平成」「昭和」）、『宋版 周易注疏』（「大正」「明治」）など、日本の元号248個のうち、その典拠となる書籍の約8割を所蔵しています。中でも、「令和」から江戸時代後期「宝暦」までの元号については、連続してその典拠を示すことができます。

そこで、元号の典拠書籍などを一堂に展示し、元号への関心を高めていただくとともに史跡足利学校が古い書籍の宝庫であることを知っていただくことを目的として、みだしの企画展を開催いたします。

2 展示期間

令和元年10月25日（金曜日）～12月8日（日曜日）
（うち国宝書籍公開期間10月25日～11月10日）

3 参観時間

午前9時00分～午後4時30分（受付は午後4時00分まで）

4 展示場所

足利学校遺蹟図書館（史跡足利学校内）

5 主な展示品

国宝『宋版 尚書正義』（「平成」「昭和」の典拠）

国宝『宋版 周易注疏』（「大正」「明治」の典拠）

国宝『宋刊本文選』（『万葉集』に影響を与えた「帰田賦」）

『万葉集（文化2年刊）』（「令和」の典拠）

『春秋公羊傳注疏』（「元年」の由来） 他

【別紙チラシのとおり】

6 休館日

令和元年11月11日（月曜日）

7 基調講演会

演 題：「元号の典拠 ーなぜ漢籍なのかー」

講 師：東京大学大学院人文社会系研究科教授 小島 ^{つよし} 毅 氏

日 時：令和元年11月10日（日曜日）

午後1時30分～3時00分

場 所：史跡足利学校復原建物方丈

定 員：当日先着60人（*事前申込不要）

8 内覧会

公開前日に関係者及び報道関係者を招き、内覧会を開催します。

参観受付窓口にて、内覧会案内通知（別途発送予定）をご提示いただきます。

日 時：令和元年10月24日（木曜日）

午後3時00分～4時30分

所管課	発表者		担当者		
	職名	氏名	職名	氏名	電話
史跡足利学校事務所	所長	大澤 伸啓	主査	石川 維	0284-41-2655